

【研究課題】 「知性・創造性を育むカリキュラム・マネジメントと校長の在り方」

【研究の視点】(1) しなやかな知性と豊かな創造性の育成

(2) しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善

#### 分科会研究協議の運営計画

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化する中で、学校は、子どもたちに「生きる力」を育むことを目指し、基礎的・基本的な知識や技能の習得、課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成に向けての教育課程を編成していくことが求められている。さらに、創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善を進め、社会の変化を柔軟に受け止めていく「社会に開かれた教育課程」にしていくことも求められている。

こうした状況の中で学校においては、地域と連携・協働して、子どもたちが社会の変化に主体的に関わり、課題解決を図るしなやかな知性と豊かな創造性を発揮できるようにしていく必要がある。

そこで、校長は、教育課程を編成し、その成果と課題の把握に努め、その結果をもとに、教育課程の改善を図り、21世紀を生きる子どもたちに必要な資質・能力を育成する創意ある教育の推進に向けて積極的に取り組むことが重要である。そのためには、教育課程のPDCAサイクルの確立や地域などの外部資源の効果的な活用等、社会に開かれた創意ある教育課程にしていくためのカリキュラム・マネジメントが求められる。

本分科会では、校長のリーダーシップの下、しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善についての具体的方策と成果を明らかにする。

視点 1 しなやかな知性と豊かな創造性の育成

- ・ しなやかな知性と豊かな創造性を育む学習指導と評価の在り方を明らかにしていくための校長の果たしていく役割について

視点 2 しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善

- ・ 育てるべき資質・能力の共通理解と学習指導の工夫や教材開発への取り組みについて
- ・ 教育課程を編成・実施・評価・改善していくための校長の果たすべき役割について

#### これまでの成果と課題（平成29年度 全連小佐賀大会・道小稚内・宗谷大会から）

##### 【成果】

- ・ 何を、どのように、いつまでになどの見通しを共有し、その取組が可視化されること有効である。
- ・ ミドルリーダーが牽引役を果たし、高い協働性の下で取組を具現化することが求められる。
- ・ 校長の役割として各学校の主体性や創意工夫を大事にしつつ、教育委員会や地域との連携を推進していくことで、学校の活性化を図ることができる

##### 【課題】

- ・ ミドルリーダーを中心に据えた組織体制を整備し、グランドデザイン及びロードマップを準備する。
- ・ 校長は、次期学習指導要領を含め、「社会に開かれた教育課程」について共通理解を図り、地域を生かした系統的なキャリア教育等の教育課程の改善を推進していく必要がある。

## 研究発表の概要

### 【視点1】しなやかな知性と豊かな創造性の育成

研究発表者 宮崎県 宮崎市立生目小学校 校長 齋藤 光 男

#### 発表の概要

これからの社会における諸問題の解決に向け、積極的に行動する児童の育成を目指して「新たな知」を拓く授業の推進を図るため、校長として果たす役割と指導性を明らかにする。取組として、新学習指導要領の具現化に向けた授業改善、保護者や学校関係者評価及び職員アンケートの活用、学力状況調査の結果分析、校長室便りの活用等を進めてきた。特に、授業力の向上に向け、公開授業を中心とした授業改善に取り組み、生目授業モデルによる授業チェックを進めている。

### 【視点2】しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善

研究発表者 北海道 喜茂別町立鈴川小学校 校長 中村 和 男

#### 発表の概要

北海道後志地区では平成28年度より本分科会の研究課題の解決に向け、カリキュラム・マネジメントの実現、主体的・対話的で深い学びの実現、の2つの視点から共同研究を進めてきた。今年度は昨年度までの課題を受け、ビジョンの共有に向けた校長のリーダーシップによるグランドデザインの提示と教科横断的な視点によるカリキュラム編成を進め、実践・検証を行うことで、研究課題の解決を図るとともに、学校の活性化に取り組んでいる。

#### 協議の流れ

- |                       |                      |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 開会・日程確認・名刺交換等(10分) | 7. グループ協議 視点1・2(60分) |
| 2. 趣旨説明(10分)          | 8. 全体協議(40分)         |
| 3. 研究発表 視点1・2(40分)    | 9. まとめと今後の課題(10分)    |
| 4. グループ協議(15分)        | 10. 全体交流(10分)        |
| 5. 全体協議 (15分)         | 11. 連絡・閉会(3分)        |
| 6. 休憩(10分)            |                      |

#### 討議の柱

##### 【視点1】「しなやかな知性と豊かな創造性の育成における校長の役割と指導性」

キーワード：・主体的、対話的で深い学び ・知性と創造性・授業改善 ・校内研修体制 ・意識改革

##### 【視点2】「しなやかな知性と豊かな創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善における校長の役割と指導性」

キーワード：・教育課程 ・校内組織体制 ・意識向上 ・ビジョンの共有 ・人材育成  
・グランドデザイン ・ロードマップ ・ミドルリーダー ・PDCA

#### お願い

グループ内で名刺交換を行いますので6枚程度お持ちください。

グループ編成及びグループ討議の司会・記録につきましては、後日、北海道小学校長会ホームページに分科会参加者名簿(座席表)を掲載しますのでご確認ください。司会・記録を担当していただく方につきましては、当日のグループ討議の進行・記録をよろしくお願いいたします。

各地区・各校の現状や取組についてグループ内で交流します。地区・自校の「授業及び教育課程の改善に向けた取組や課題」について資料等をご用意できる方は、6部程度お持ち寄りいただけますと幸いです。グループ内での交流資料として配布いたします。(A4版,1枚程度,表裏印刷可)